

自社用ソフトウェア開発ツールの オープンソース型開発の提案

日本電気株式会社

石井健一

k-ishii@en.jp.nec.com

開発における問題点

ソフトウェア開発効率化のために、独自でツール(自社用ソフトウェア開発ツール)を開発する
場合がある。
しかし、ツール作成者の異動や組織改正などによって、ツールの機能追加、メンテナンスやサ
ポートが止まる。

手法・ツールの提案による解決

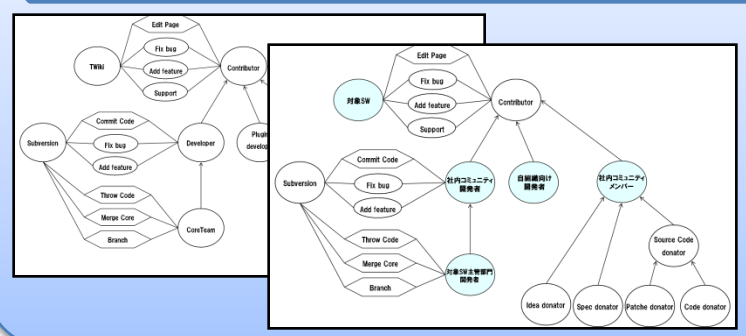
自社用ソフトウェア開発ツールへのオープン
ソース型開発を適用することによって、継続的
なツールの機能追加、メンテナンス、サポートを
実現する。

提案の概要

開発する自社用ソフトウェア開発ツールと類似するオープンソースの開発体制、開発方法を分析し、利用する。

類似するオープンソースの開発体制・方法

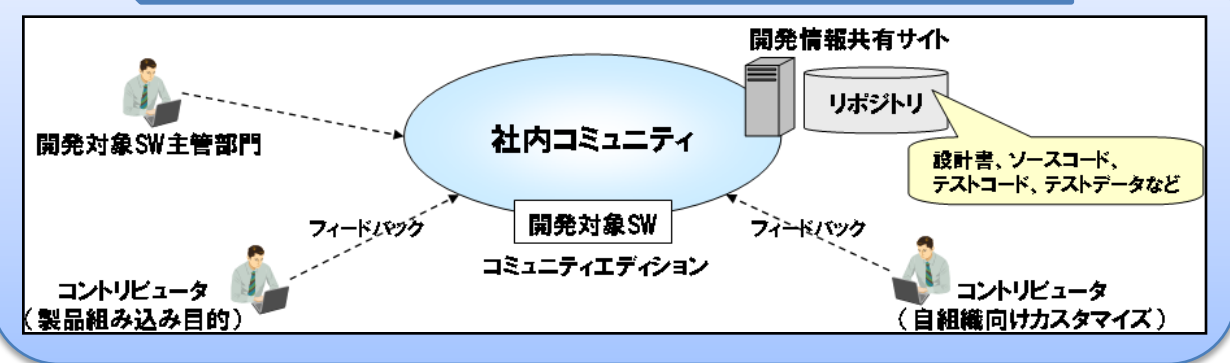
ゴール分析手法を用いたモデル



分析

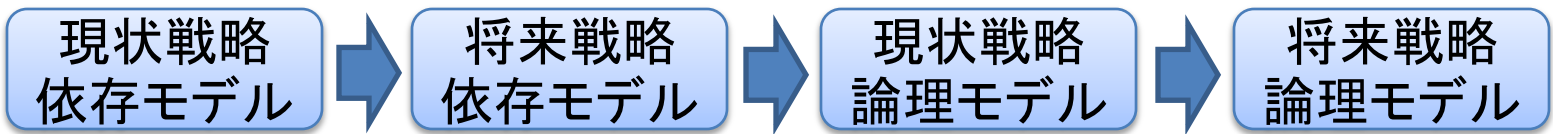
利用

自社用ソフトウェア開発ツールのオープンソース型開発



i*によるゴール分析

アクター間やアクター内部の依存関係(リソース・タスク・ゴール・ソフトゴール)を分析する。



アクター間の依存関係をモデル化する。

アクター内部の依存関係をモデル化する。